



**高崎市社会福祉協議会
ふれあい・いきいきサロンアンケート
結果報告書**



平成 27 年8月実施

はじめに

ふれあい・いきいきサロンは、ひとり暮らしの高齢者や閉じこもりがちな方などが、地域の中で孤立しないように集まり、楽しい一時が過ごせるような場を地域の中で作ることを目的としています。

「気軽に」・「無理なく」・「楽しく」おしゃべりをしながら笑いあい、ともに時間を過ごすサロンが、新しい生活習慣として広まることにより、「寝たきり知らず」・「認知症知らず」となることを願い、現在、当協議会でも活動を推進しているところです。

現在、高崎市にも、33地区に321か所のサロンがあり、地域住民により、それぞれが地域の実情等に応じて創意工夫しながら、地域拠点としての福祉活動が自主的・自発的に進められています。

今般、平成27年8月にアンケート調査を実施したところ、291か所のサロンから貴重な回答が寄せられました。この集計結果から、活動の現状や課題、利用者・運営者・地域にとっての効果やニーズ等の全体像を具体的に明らかにするに留まらず、サロンのあるべき姿や今後の方向性を導き、要支援者・介護予防者を支える地域包括ケアシステムにおけるサロンの可能性をも示唆するものとなりました。

サロン運営関係者の皆様には、本調査結果をご参照いただき、サロン活動へのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

サロン運営は、区の役員さん、民生児童委員の皆さんやボランティアの皆さんが中心となって精力的に活動されておりますが、当協議会といたしましても、「歩いて行かれる交流の場所づくり」を大切に、サロン運営をより一層支援してまいりたいと考えております。

最後に、アンケート調査にご協力いただきましたサロン運営者の皆様に心から深く感謝を申し上げます。

目 次

- 1 アンケート調査の概要…………… P 1
- 2 アンケート調査の結果について…………… P 2 ～ P 2 4
- 3 資料（依頼文・アンケート用紙） …… P 2 5 ～ P 2 7

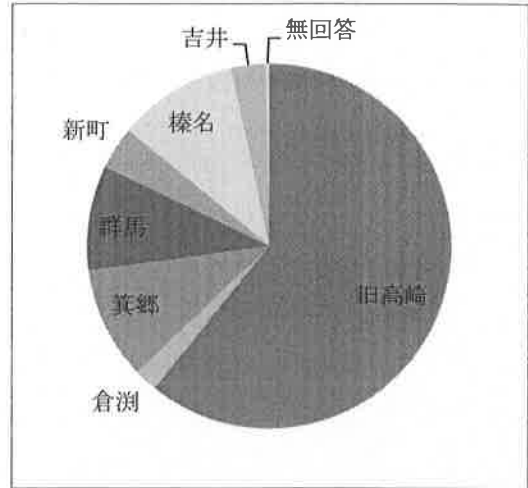
1 アンケート調査の概要

- (1) 名 称 ふれあい・いきいきサロン状況アンケート調査
- (2) 目 的 高崎市社会福祉協議会が推進しているふれあい・いきいきサロンについて、これまでの取り組みから得られた効果や、抱えている課題、継続性をアンケート調査により探り、検証し、今後の活動に活かしていく。
- (3) 調査主体 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会
- (4) 依 頼 先 平成27年7月末時点で、高崎市社会福祉協議会に登録する高齢者サロン319カ所に依頼
- | | |
|---------------|---------------|
| 旧高崎地域…198カ所 | 倉渕地区……………6カ所 |
| 箕郷地区……………32カ所 | 群馬地区……………28カ所 |
| 新町地区……………11カ所 | 榛名地区……………35カ所 |
| 吉井地区……………9カ所 | |
- (5) 送付方法 郵送
- (6) 送付書類 ①依頼文
②ふれあい・いきいきサロン状況アンケート調査記入用紙
- (7) 回収方法 返信用封筒
- (8) 回収期日 平成27年9月30日(水)
- (9) 回答率 91.2%
(319カ所のサロンに依頼し、291カ所のサロンからの回答を集計)

2 アンケート調査の結果について

問1 サロンを開催している地区について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

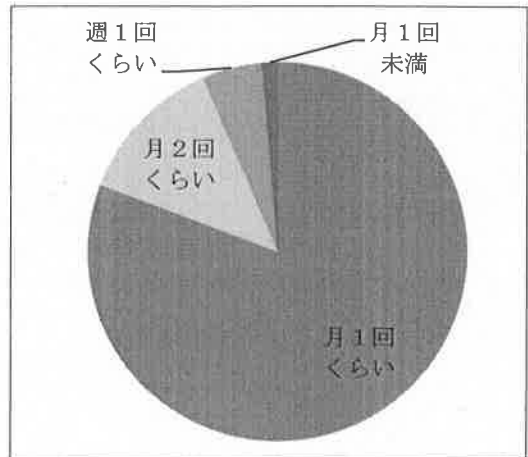
| 地域名 | 回答数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| 旧高崎 | 177 | 60.8% |
| 倉 渕 | 6 | 2.1% |
| 箕 郷 | 29 | 10.0% |
| 群 馬 | 27 | 9.3% |
| 新 町 | 11 | 3.8% |
| 榛 名 | 31 | 10.7% |
| 吉 井 | 9 | 3.1% |
| 無回答 | 1 | 0.3% |
| 合 計 | 291 | 100.0% |



◇約60%が「旧高崎」地域で、続いて、「榛名」、「箕郷」、「群馬」の順となっている。

問2 現在のサロンの開催頻度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

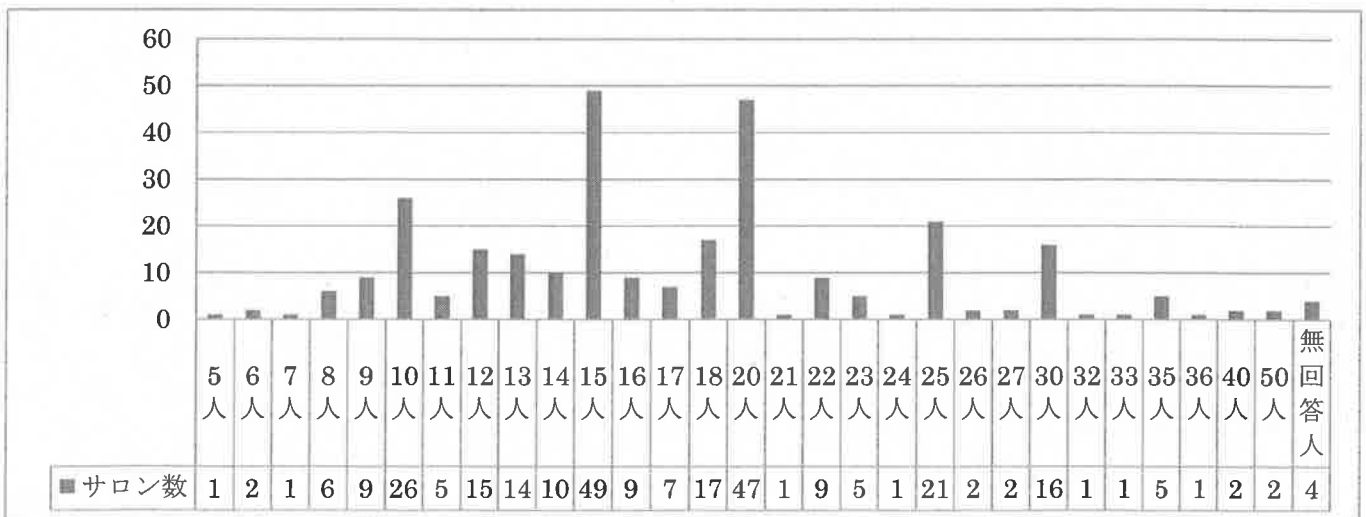
| 回数 | 回答数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| 月1回くらい | 235 | 80.8% |
| 月2回くらい | 37 | 12.7% |
| 週1回くらい | 15 | 5.2% |
| 月1回未満 | 4 | 1.4% |
| 合 計 | 291 | 100.0% |



◇サロンの開催頻度についての設問では、「月1回くらい」実施しているサロンが約80%あり、続いて「月2回くらい」実施のサロンが約12%となっている。

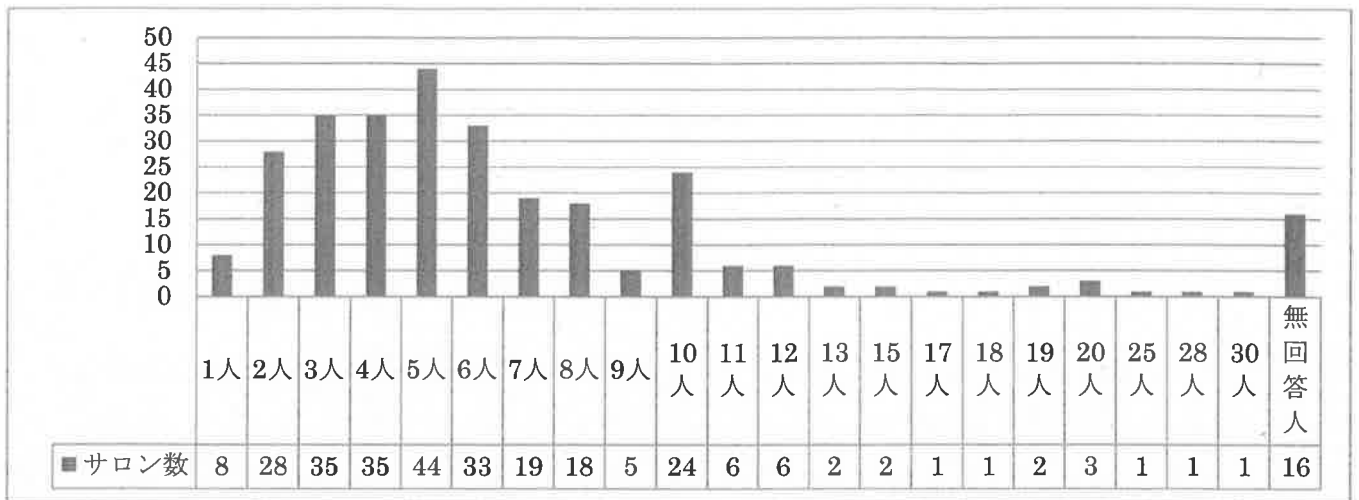
問3 参加者・担い手（運営関係者）の1回に参加する平均人数をご記入ください。

《参加者の平均人数》



◇1回のサロンに参加する平均人数は、15人が49サロン（約16.8%）と最も多く、20人が47サロン（約16.2%）、10人が26サロン（約9%）の順になっている。

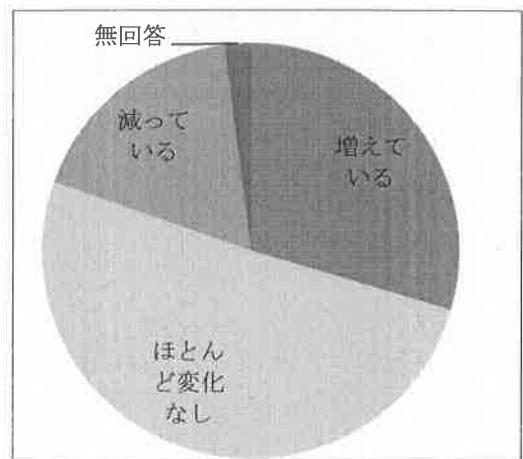
《担い手（運営関係者）》



◇1回のサロンの担い手（運営関係者）の平均人数は、5人が44サロン（約15.1%）で最も多く、3人が35サロン（約12%）、4人が35サロン（約12%）で同数となっている。

問4 サロン開設時と比べて参加者数は、どう変化していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

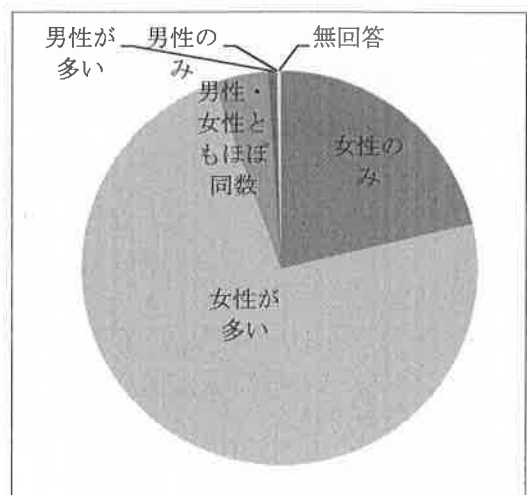
| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| 増えている | 86 | 29.6% |
| ほとんど変化なし | 148 | 50.9% |
| 減っている | 51 | 17.5% |
| 無回答 | 6 | 2.1% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



◇「ほとんど変化なし」が約50%で、続いて、「増えている」が約30%となっている。

問5 参加者の性別構成について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

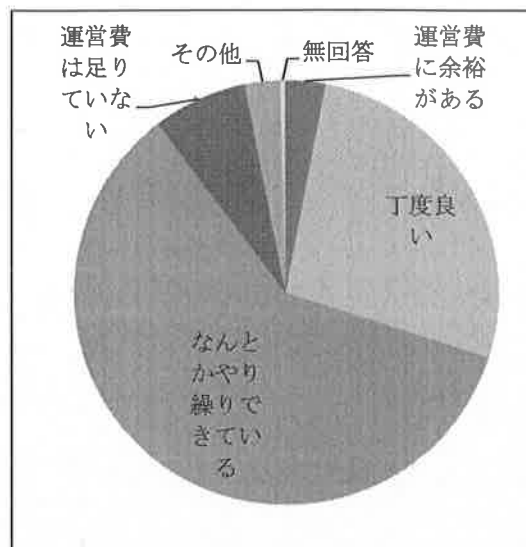
| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| 女性のみ | 62 | 21.3% |
| 女性が多い | 213 | 73.2% |
| 男性・女性ともほぼ同数 | 13 | 4.5% |
| 男性が多い | 2 | 0.7% |
| 男性のみ | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 1 | 0.3% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



◇「女性が多い」（73.2%）が最も多く、続いて、「女性のみ」（21.3%）との状況から、どこのサロンも女性が多いことが窺える。

問6 サロンの運営費（収入）について、当てはまるもの1つにまるをつけてください。

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 運営費に余裕がある | 9 | 3.1% |
| 丁度良い | 78 | 26.8% |
| なんとかやり繰りできている | 174 | 59.8% |
| 運営費は足りていない | 21 | 7.2% |
| その他 | 8 | 2.7% |
| 無回答 | 1 | 0.3% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



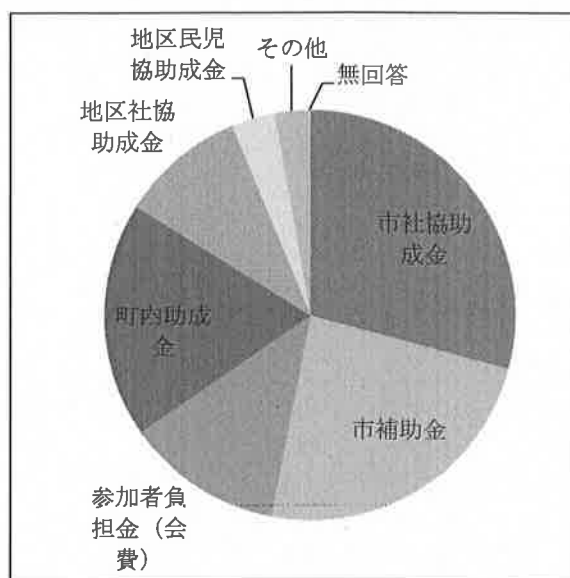
◇「なんとかやり繰りできている」が半数以上の約60%で、続いて、「ちょうど良い」が約27%となっている一方で、約7%のサロンが「サロンで運営費は足りていない」との回答もあった。

その他の意見

- ・その他の不足分につきましては町内から協力有り。
- ・運営費の範囲で行っている。
- ・茶菓子等持ち寄りして、やり繰りしている。
- ・今年度より区より助成いただきやりくりできています。
- ・自治会から補助金を頂いている。
- ・平成27年4月より開催しましたので、未定です。
- ・今年から始めたのでまだ解らない。

問7 サロンの収入について、当てはまるもの全てに○をつけてください。《複数回答》

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 市社協助成金 | 272 | 29.2% |
| 市補助金 | 223 | 23.9% |
| 参加者負担金（会費） | 115 | 12.3% |
| 町内助成金 | 173 | 18.5% |
| 地区社協助成金 | 92 | 9.9% |
| 地区民児協助成金 | 32 | 3.4% |
| その他 | 25 | 2.7% |
| 無回答 | 1 | 0.1% |
| 合計 | 933 | 100.0% |



◇サロンの主な収入財源としては、「市社協助成金」が最も多く、続いて「市補助金」、「町内助成

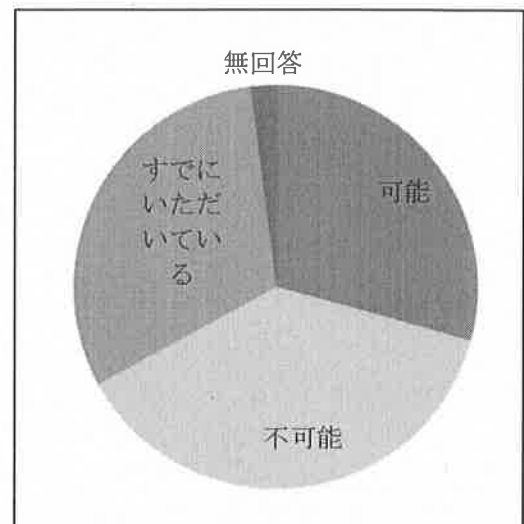
金」の順となっている。また、「参加者負担金（会費）」を集めているサロンは、全体の約4割、「地区社協助成金」として支援を受けているサロンは、約3割ある状況である。

その他の意見

- ・ 公民館から助成金
- ・ 旅行のみ参加者負担（500円～1,000円）
- ・ 個人の奉仕
- ・ 今年度から皆様が会費を出そうとのことで会費を集めます。
- ・ 足りない予算は、私（民生委員）が負担している。
- ・ 行事によって一部負担して頂く事もあります
- ・ 物品の寄付が相当にあります。ボランティアの方から。
- ・ 8月は会場が暑いので外で食事会。その代金を負担。
- ・ 地区長寿会より助成金あり。
- ・ ご芳志
- ・ 物品の寄付
- ・ 町内長寿会より、その他寄付
- ・ 地区、区長会助成金、校区生涯学習推進員
- ・ 大類地区区長会助成金
- ・ クリスマス会や食事会等は会費を取る。
- ・ 土木事務所より、緑と花クリーン作戦。年々高齢化になるので来年の予定はまだ確定していない。
- ・ 区補助、寄付金
- ・ 日帰り温泉などは自己負担
- ・ 婦人会
- ・ 外出事業のみ会費を徴収している。
- ・ 校区生涯学習推進員より助成金
- ・ 昼食も皆さんの希望で材料費200円をいただいております。
- ・ 地区公民館からの助成金

問8 参加者からの負担金（会費）をいただくことは可能ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

| 項目 | 回数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 可能 | 85 | 29.2% |
| 不可能 | 110 | 37.8% |
| すでにいただいている | 90 | 30.9% |
| 無回答 | 6 | 2.1% |
| 合計 | 291 | 100.0% |

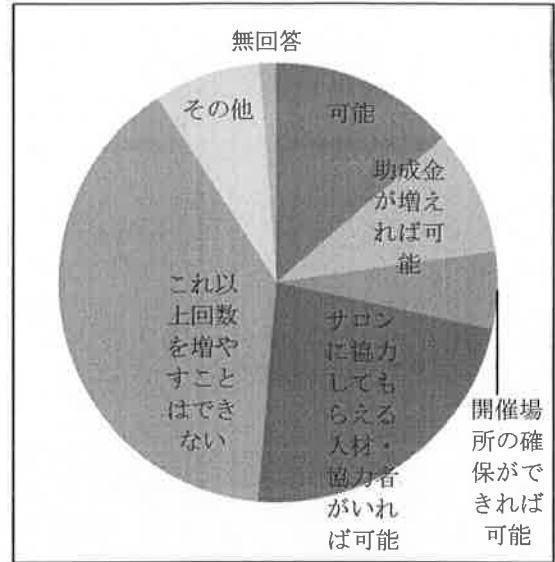


◇参加者から負担金（会費）をいただくことについて、「可能」との回答が約30%で最も多く、続いて、「すでにいただいている」が約31%となっている。一方で、「不可能」との回答も約38%であった。

問9 今後、サロンの開催頻度を増やしていくことは可能ですか。当てはまるもの全てに○をつ

けてください。《複数回答》

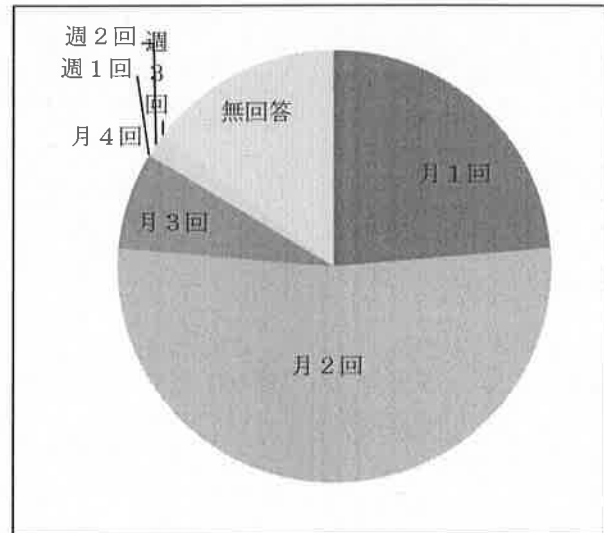
| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|--------------------------|-----|--------|
| 可能 | 55 | 13.6% |
| 助成金が増えれば可能 | 37 | 9.1% |
| 開催場所の確保ができれば可能 | 23 | 5.7% |
| サロンに協力してもらえる人材・協力者がいれば可能 | 93 | 23.0% |
| これ以上回数を増やすことはできない | 160 | 39.5% |
| その他 | 32 | 7.9% |
| 無回答 | 5 | 1.2% |
| 合計 | 405 | 100.0% |



◇今後、サロンの開催頻度を増やしていくことの設問に対して、「これ以上回数を増やすことはできない」が約40%を占める一方、条件付きでサロン回数を増やすことが可能との回答が、約51%のサロンあった。

■可能な場合の回数

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|-----|-----|--------|
| 月1回 | 13 | 23.6% |
| 月2回 | 29 | 52.7% |
| 月3回 | 4 | 7.3% |
| 月4回 | 0 | 0.0% |
| 週1回 | 0 | 0.0% |
| 週2回 | 1 | 1.8% |
| 週3回 | 0 | 0.0% |
| 無回答 | 8 | 14.5% |
| 合計 | 55 | 100.0% |



◇可能な場合の回数では、「月2回」が約53%で最も多く、月1回（23.6%）、月3回（7.3%）との順になっている。

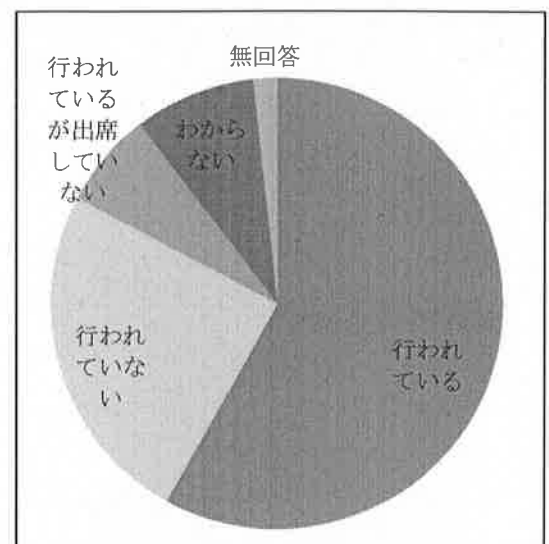
その他の意見

- ・空き家をお借りしているため、いつ借りられなくなるか先がわからない。私自身は、1ヶ月1回が限度です。
- ・現在通り月1回がベストだと思います。
- ・サロンみなみⅠとⅡで別々の企画で南地区として月2回開催している。
- ・民生委員が主導の場合、多忙すぎる。内容にもいきずまり感がある。助成金が足りなくなる。
- ・月に1回が適当です。
- ・現状の月1回を続けていく。

- ・ちょうど良いと思います。(月1回)
- ・仕事があるので休日の調節が可能ならできますが… 現状では無理があります。
- ・土地柄、農家の方が多く「月1度のサロンが楽しみです」という意見もありました。
- ・参加者から何ヶ月に1回程月2回位して欲しいと要望あり。
- ・月2、3回位は理想ですが、民生委員・ボランティアの負担が大きすぎます。いろいろな計画を立て充実させていくには進行をプロ的な人をお願い出来ればと思います。
- ・ちょっと増やすのは大変
- ・必要に応じて月2回程まで
- ・同じ町内にもう一つ健康体操主体のサロンがあるので、これ以上回数を増やす必要性を感じない。
- ・現状満足
- ・とりあえず、現状で進めて行きたい。
- ・年間で1回くらい増すことを検討
- ・花見、日帰り温泉、一泊温泉等を行っている。
- ・現在の回数で丁度良い。
- ・今のお金でうまくやっています。
- ・月1回の集まりで皆さん楽しく過ごさせていただいております。午前10時から午後2時までで昼食いただいております。
- ・現在、食事を出していますが、お茶やお菓子にして場所を広い所に変えれば開催日も月2回程度に増やす事も可能になると思います。
- ・今年4月に人員を増やしたばかりなので2～3年は無理かと思う。
- ・参加者が希望すれば可能。
- ・週1回開催しているので増やす必要なし。
- ・レク中心では限界。ただ今、地区社協とも協議中であるが、軽作業等の開拓が必要と考える。
- ・参加者の会費と市社協助成金丁度良い。
- ・現状維持でなりゆきにまかせます。
- ・3～5名は時々楽しんでます。少人数の時は会費なし。食事自分もちです。

問10 地区社会福祉協議会主催のサロン連絡会議や情報交換が行われていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

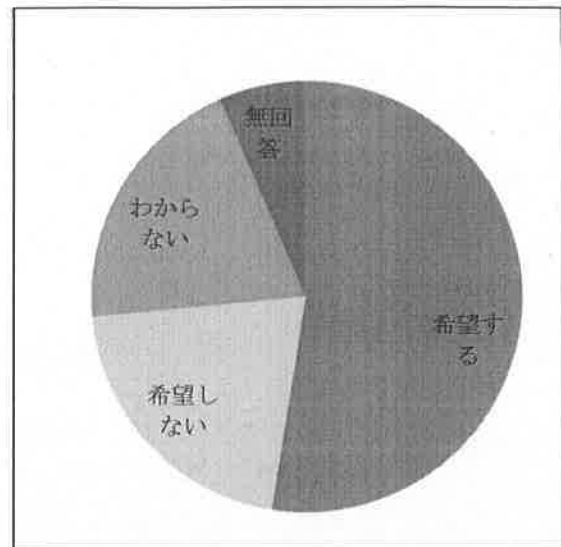
| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| 行われている | 169 | 58.1% |
| 行われていない | 72 | 24.7% |
| 行われているが出席していない | 20 | 6.9% |
| わからない | 25 | 8.6% |
| 無回答 | 5 | 1.7% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



◇地区社会福祉協議会主催のサロン連絡会議や情報交換が行われているかとの設問に対して、「行われている」が約58%で最も多く、「行われていない」が約25%であった。

問1 1 地区社会福祉協議会等でサロン連絡会議や情報交換会の開催を希望しますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

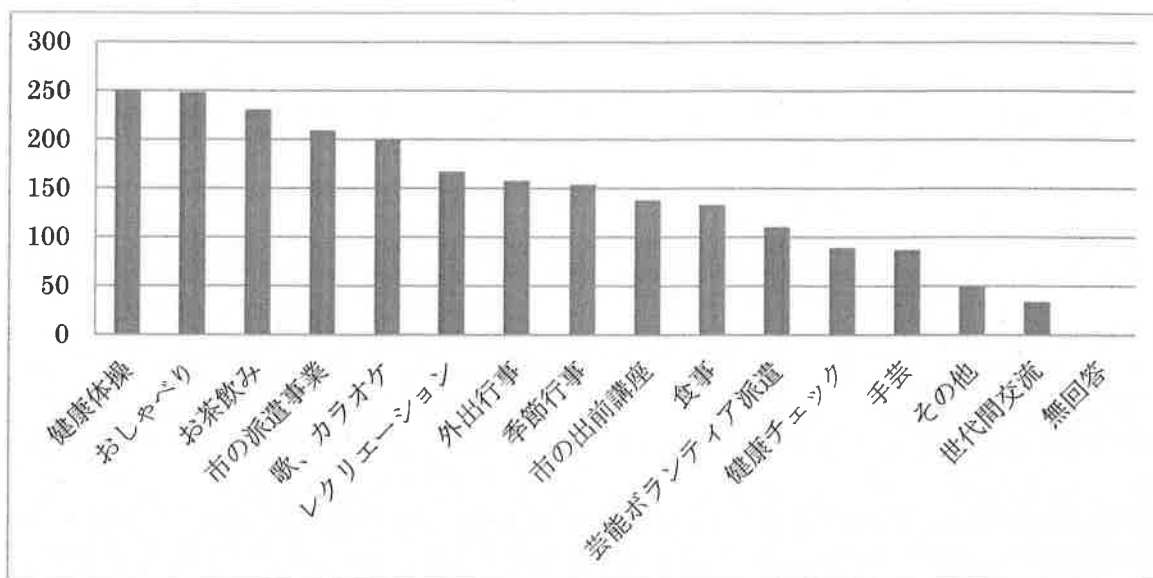
| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 希望する | 153 | 52.6% |
| 希望しない | 61 | 21.0% |
| わからない | 58 | 19.9% |
| 無回答 | 19 | 6.5% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



◇地区社会福祉協議会等でサロン連絡会議や情報交換会の開催を希望するかとの設問に対して、「希望する」が約53%で最も多く、続いて「希望しない」が21%、「わからない」が約20%の回答であった。

問1 2 日頃のプログラムについて、当てはまるもの全てに○をつけてください。《複数回答》

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|------------|-------|--------|
| おしゃべり | 248 | 11.0% |
| 歌、カラオケ | 200 | 8.9% |
| レクリエーション | 167 | 7.4% |
| 健康体操 | 251 | 11.1% |
| 健康チェック | 89 | 3.9% |
| 手芸 | 87 | 3.8% |
| 季節行事 | 154 | 6.8% |
| お茶飲み | 231 | 10.2% |
| 食事 | 133 | 5.9% |
| 外出行事 | 158 | 7.0% |
| 芸能ボランティア派遣 | 110 | 4.9% |
| 世代間交流 | 34 | 1.5% |
| 市の派遣事業 | 209 | 9.2% |
| 市の出前講座 | 138 | 6.1% |
| その他 | 50 | 2.2% |
| 無回答 | 1 | 0.1% |
| 合計 | 2,260 | 100.0% |



◇日頃のプログラムについての設問に対して、「健康体操」「おしゃべり」「お茶のみ」「市の派遣事業」の順で多くのサロンで行われている。

その後、「歌、カラオケ」「レクリエーション」「外出行事」の順で続いている。

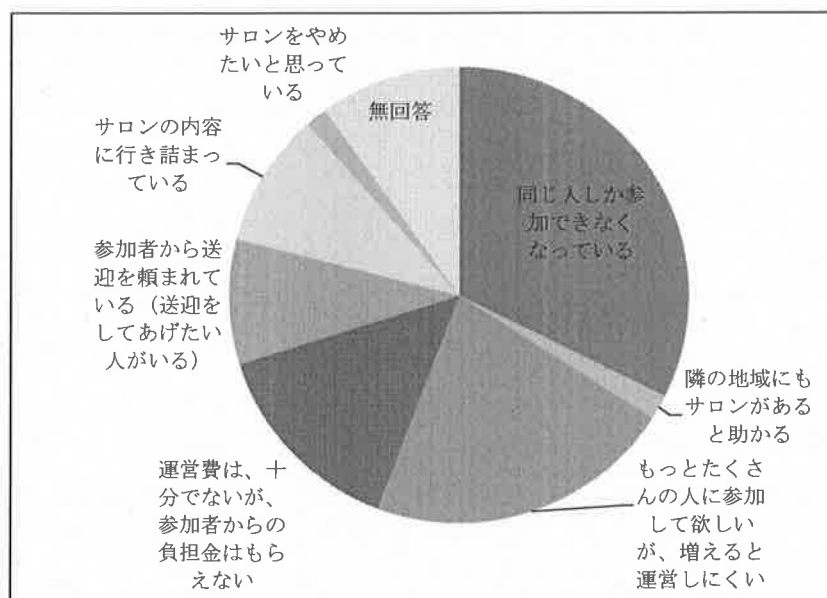
その他の意見

- ・マジック、紙芝居屋、落語、楽団演奏、輪投げ 等
- ・簡単なゲーム等、食事会は、年1回予定
- ・園芸、工作、折紙、手芸
- ・ラフターヨガ、脳トレ問題
- ・折り紙工作、季節の物（門松、七夕、ひな祭）と季節の創作品
- ・ペットボトルポーリング、輪投げ、玉入れ
- ・町内在住者の民話
- ・前は体操、血圧測定等して頂きました。注 4月より変わりお話しだけですが、1時間30分の制限がありますので、質問や会話等ですが 1.体操 2.血圧測定等も希望したいです。
- ・内科医師による健康の話、町内の音楽家によるミニ・コンサート
- ・軽食
- ・健大看護科生健康教室実施
- ・工作（折紙、粘土） 県の出前講座（生活安全）
- ・年1回健大生参加 2月
- ・サロン参加者によるお茶会（お手前で）、講演会。1年間のライブラリー
- ・県の出前講座
- ・折り紙講座（手指を使う）
- ・あんしんセンターに依頼（年に2度位）
- ・ビデオ映画鑑賞
- ・言葉あそび、パズルの様な軽い頭の体操
- ・その道のプロ（音楽家など、様々）
- ・今年度より日高病院地域医療の出前講演を活用させて頂いてます。8/17、10/19、12/21
- ・名所、旧跡観光等のパンフレットを利用した話題づくり。
- ・紙芝居
- ・本年度より榛名荘病院の機能訓練を取り入れる

- ・ 自前で計画を立てています。ぬりえ、紙芝居、縫物（お手玉）、折り紙、かるた大会など
- ・ 創作教室（書、絵）
- ・ 個人的にボランティア依頼
- ・ 箕郷地区社協事業（職員とボランティア）による出前サロン（講話、手芸、唱歌等）
- ・ 3年経過しますが、おしゃべりが主体になりがちです。
- ・ 毎回、連絡事項として区長、老人会長、民生児童委員さんのあいさつ有り。
- ・ 地元でサークル活動している方の発表（フラダンス、コーラス、オカリナ等）
- ・ 放置たんぼに繁茂している篠を使って茸箆編みに挑戦中
- ・ 輪投げ
- ・ 演奏会、コーラスグループの公演開催
- ・ 歴史名所めぐり、群馬支所バスで外出行事
- ・ 健康的に生活する為の情報交換（相互）
- ・ 輪投、消防に関する講話。あんしんセンター（医療講和）講話
- ・ 日高病院の出前講座
- ・ 名所、旧跡、上毛新聞印刷工場視察。上野村地下発電所見学
- ・ いろいろ取り入れたい。

問 1 3 現在の状況について、当てはまるもの全てに○をつけてください。《複数回答》

| 項 目 | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------------|-----|--------|
| 同じ人しか参加できなくなっている | 146 | 32.3% |
| 隣の地域にもサロンがあると助かる | 8 | 1.8% |
| もっとたくさんの人に参加して欲しいが、増えると運営しにくい | 98 | 21.7% |
| 運営費は、十分でないが、参加者からの負担金はもらえない | 65 | 14.4% |
| 参加者から送迎を頼まれている（送迎をしてあげたい人がいる） | 40 | 8.8% |
| サロンの内容に行き詰まっている | 43 | 9.5% |
| サロンをやめたいと思っている | 7 | 1.5% |
| 無回答 | 45 | 10.0% |
| 合 計 | 452 | 100.0% |

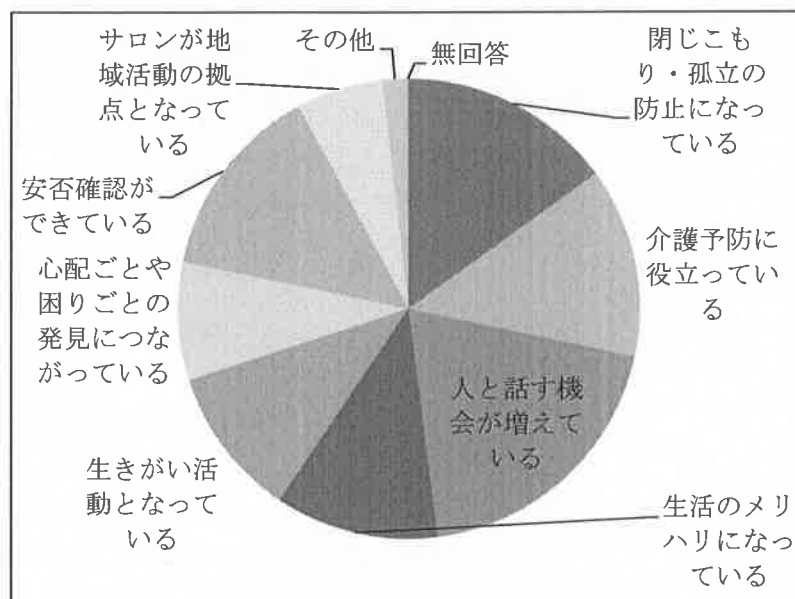


◇現在の状況についての設問では、「同じ人しか参加できなくなっている」が最も多く、続いて「もっとたくさんの人に参加して欲しいが、増えると運営しにくい」「運営費は、十分でないが、参加者からの負担金はもらえない」となっている。その他、「サロンの内容に行き詰まっている」や「参加者から送迎を頼まれている（送迎をしてあげたい人がいる）」といった課題や問題もある。

問14 サロンを開催してからの効果について、当てはまるもの全てに○をつけてください。

《複数回答》

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|----------------------|-------|--------|
| 閉じこもり・孤立の防止になっている | 208 | 15.1% |
| 介護予防に役立っている | 184 | 13.3% |
| 人と話す機会が増えている | 271 | 19.6% |
| 生活のメリハリになっている | 158 | 11.4% |
| 生きがい活動となっている | 146 | 10.6% |
| 心配ごとや困りごとの発見につながっている | 115 | 8.3% |
| 安否確認ができています | 191 | 13.8% |
| サロンが地域活動の拠点となっている | 84 | 6.1% |
| その他 | 24 | 1.7% |
| 無回答 | 1 | 0.1% |
| 合計 | 1,382 | 100.0% |



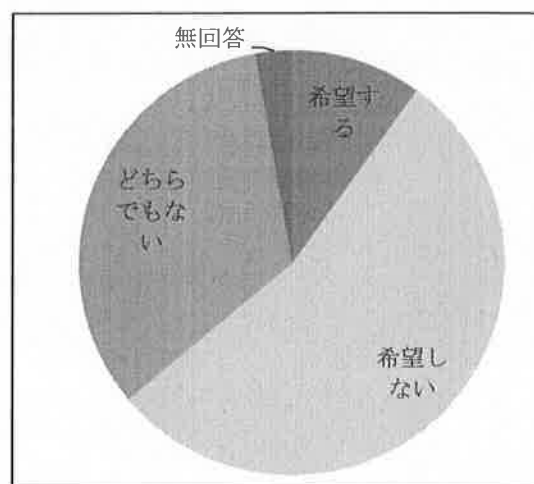
◇サロンを開催してからの効果についての設問に対しては、「人と話す機会が増えている」が最も多く、続いて、「閉じこもり・孤立の防止になっている」「安否確認ができています」「介護予防に役立っている」の順でサロン実施での効果が表れている。

その他の意見

- ・健康増進
- ・サロンに参加したいがために、足腰をきたえている。
- ・ゴミ出しや、買物等助け合いが出来ている。
- ・ひとり暮らしの人の参加が増えて来ている。
- ・80代後半からの人、並びに比較的に年齢が低く「ひきこもり」の人に参加を進めている。
- ・健康状態の改善となっている。
- ・1ヶ月のリズムの中心行事となっている。
- ・何人かは開催日が楽しみという。
- ・区内のコミュニケーション、情報伝達が円滑になった。
- ・参加者が得意な事で講師になったりするので、事前準備など張りの有る日々も得ている。活性化になっていると思う。
- ・町内の方々に会える楽しみ。地域の様子がわかる。
- ・大日蔭の夏季研修会は大変喜んでいて。VTR撮影、輪投大会、バーベキュー。楽しい一時を過ごした。年2回位やって欲しいと。(去年4月中旬頃桜の花の咲く頃、春季研修会を予定)
- ・運営費の範囲で行っている。

問15 高齢者の買い物支援として、サロン開催日の会場に移動販売車両に来てもらうことの希望について

| 項目 | 回答数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 希望する | 29 | 10.0% |
| 希望しない | 157 | 54.0% |
| どちらでもない | 97 | 33.3% |
| 無回答 | 8 | 2.7% |
| 合計 | 291 | 100.0% |



◇高齢者の買い物支援として、サロン開催日の会場に移動販売車両に来てもらうことの希望の設問に対しては、「希望しない」が54%で最も多く、「どちらでもない」が約33%、「希望する」が10%であった。

問16 10年後、サロンが活発に活動しているために必要だと思うもの・こと（自由記述）

- ・現在、サロン運営に携わっている者のうち65%近くが70歳以上のため、現在50歳代・60歳代の人達の積極的活動が不可欠である。
- ・年々、高齢者や一人暮らしが増えていく一方、町内のボランティアなどのサロン協力者の成りてがない現状です。閉じこもりがちな高齢者の方が気軽に立ち寄れるような場所（コミュニティーセンターなど）があれば良いと思います。（サロンという形式じゃなく）
- ・各サロンに中心的活動者がいれば必ず活動出来ます。財政上の問題がこれから大変になります。協力し節約が重要と考える。地域には、サロン活動等に理解無き人もある。地道な活動で打破。
- ・担い手（ボランティア）等が継続的に維持できる仕組（体制）があると良いのでは。行事や活

動内容への支援、指導（新しい活動内容や講師派遣紹介等）が欲しい。

- ・若い世代（50代まで）が仕事をしている事が多く平日の協力は望みにくい。地域社会に興味を持って参加して下さるようになるのを希望している。3月までは、ことりの園の方が専任で意志の疎通が出来たのが、4月からはお役所仕事という感が強い。これからの動向を見ていきたい。
- ・サロンも大世帯になったので大変だと思いますが、運営費の値上げを要望したい。少しずつ若い人にも協力をお願いしたいのでよろしくお願いします。
- ・参加者にはそれなりに主体性を持たせたいと考えています。参加して良かったと有意義で効果ある内容に心掛けています。
- ・地域の習慣や仕来りがある。なかなかわかってもらえない。区内に集会所が無く、行く事が大変である。PR不足、サロン活動リーダー育成（サポーターはいるがリーダーはいない）。
- ・現在、来ている人は、余り自分の意見等を言わない。10年後は、参加者全員で今を盛り上げ楽しんでもらいたいと思います。区長さん班長さん等の参加もあるといいと思います。
- ・次世代の人の加入育成
- ・多くの人に参加して欲しいのですが公民館が狭い、運営費が十分でないので何とかしたいです。
- ・是非参加してみたいと思う内容のサロンにする事だと思います。それには私達運営していく者の学習研修などが必要に思えます。社協からも多種多様の研修会を開催して戴きたい。榛名支所ではゲームの貸し出し等があると聞きました。
- ・活発に活動しているかわかりませんが、みんなが集まって安否確認、人と話す機会があれば良いと思います。
- ・近所の人と誘い合って自由に参加するサロン、気楽な話、お茶飲み。それだけでも人とのつながりを感じ楽しく生きられると思う。
- ・同じ人しか参加せず、毎回同じパターンになっている。他の人にも参加を促すが、なかなか参加いたしません。民生委員の仕事の内、結構負担になっております。
- ・町内に公民館がないため、いきいきサロンを継続させていきたいが、現在、空き家をお借りしているののでいつどのように変化するかわかりません。10年後は、会場がなくできないと思います。やはり、場所の確保が必須だと思います。今後何かアドバイスのことを教えて頂けるとありがたいと思います。
- ・担い手の育成、会場の確保、地区社協の応援が必要。自主サロンにも助成金が欲しい。1町内1サロンの原則により来期は自主サロンになる予定です。
- ・若い人が参加してくれるといいのですが…。
- ・女性が多く男性の出席が少ないので何か良い方法は無いかと思っております（男の人の方がナイーブなんでしょうかね！！）。市からの派遣事業ですが、今年4回だったのが年1回になってしまいましたが、1回では少ないと思います。今後は老々介護の事が一番心配ですね。
- ・参加者を増やしたい。
- ・お年寄りだけの参加ではなく、身近な人が気軽に参加できるようになり健康長寿を延ばすようなプログラム等、人が好奇心を持てる課題があると思います。民生委員やボランティアだけでなく、人材も公共機関を多めに利用できたらと思います。
- ・私は、現在73才です。後に続く人がなかなかいません。真剣に声掛けをしている最中です。一人でも多くの人に参加して活動して頑張ってもらえるよう願っています。
- ・大いに必要と思いますが、これからの若い50代世代が、隣人のつきあいに無関心、協力的でないのに10年後サロンが成り立つか疑問です。
- ・出前講座が年3回くらい使えると助かる。介護予防サポーターが手伝ってくれるのですごく助かる。
- ・現在の参加者は70才以上です。運営委員になれる人（60才くらい）の参加が必要ですが、若

いは参加してくれません。

- ・町内の家族構成がほとんど65才以上のひとり(独居)、未亡人が増えていくと思います。現在、地域の公民館でやっているサロンは原則が公民館迄来られる人なので、今後どうなるのかな?と心配です。地域(町内)として取り組まないと指導(お世話)する人も高齢化するので引きこもるか、施設に入るしかないのかなと思います。
- ・内容を豊かにしていくことが大切と思う。経済的に苦しい人の事を中心に運営していく必要がある。孤立しやすい人の発見に力を注ぐ。
- ・他世代(保育園児・小学生)との交流が出来ればと考えていますが、なかなか難しいです。今以上に充実させようと思うが、民生委員と兼任では無理だと思う。サロン専任の人を設けるべきだと思う。
- ・ボランティアをお願いすると心よくして下さいますので、ありがたいとは思っていますが、責任者の私のかわりがなくて困っています。トップの交代ができないのは長く活動するのに困る点だと思います。
- ・「筋力トレーニング」だけのメニューのサロンですが、年々参加者は増えてきました。が、担い手も年々高齢者化してきて行き詰まっています。次を受けてくれる人がなく困っています。しっかりとした認定を受けたサポーターさんに代表を変わって欲しいのですが、紹介とかして欲しいです。
- ・地域、地区の組織として町内でバックアップして頂けると主催者の大きな力となるのではと思います。
- ・担い手の育成と資金の援助。市の補助金は4月にしてもらおうと運営しやすい。今年みたいに6月の支給では4~5月は運営者の持ち出しになるので面倒になる。
- ・例年通りに、市から介護、口腔、栄養、体操などの講座を続けて頂きたいと思います。
- ・10年後は70歳後半の人達の一番増加する頃です。従ってサロン参加者も一段と増やすことと思います。金銭面でも今以上に補助が必要になってくると思います。又、手伝ってくれるボランティアの方の協力が一層必要になると思います。
- ・市や社協で開催内容の補助(企画の助け)をしてもらわないと行き詰まる。
- ・10年後は、私達がサロン参加者になっている時だと思うと介護予防サポーターの方々と連携して「健康サロン」の方にして行ったらどうでしょうか?参加者の保険代は市に負担して頂いて、飲み物は各自持参。民生委員の負担が少なくなれば一週間に一回も夢ではないと思います。
- ・サロン場所迄の足(一人で歩いて来る事が無理)。運営側の負担が大きい(下準備必要)。ボランティアや民生委員主催ではなく、市や社協が中心となって欲しい。
- ・参加者がもっと多くなる工夫が必要である。
- ・活動にはどうしても予算的な裏付が必要になりますので宜しくお願ひしたいと思います。人数の自然減はありますので、新たな会員の入会が必要ですが、なかなかです。町内、個人への周知のつみ重ね、ほどほど満足いただけるような内容を選ぶなど続けていくよりないと思います。なかなか参加していただかなくとも、おいでいただくと次も来ていただけることが多いです。有りがたいです。内容についての公の方での協力有りがたく思います。今後もよろしくお願ひします。
- ・10年後の事はわかりません。サロンに来ている人は80歳代になり若い人がいないのです。
- ・介護予防講座などの出前講座の回数が少なくなり残念。運営する私達もサロンに参加してくれている高齢者の方も「勉強になる」と好評でした。
- ・年に2回(春、秋)福祉バスで旅行に行っていますが、どんな所へ行くのが良いかいつも悩みます。他のサロンではどんな所へ行っているのか知りたいです。
- ・サロンに協力してくれる人材がカギです。地域の方々の協力と理解、参加者が増える事。
- ・利用している公民館は町内住人が多い割に狭く駐車場もなく、道路に面していて使いにくい

- す。町内での改善が必要だと思えます。今年から出前講座が少なくなりサロンでの催しも大変です。もう少し増やして頂けると助かります。
- ・サロンの企画実行は、民生委員の活動のなかでかなりの負担になっている。サロンの係は民生活動と切り離しても良いのでないか。
 - ・サロン運営者に出席者が楽しい時間を提供できるよう情熱をもち続ける事ができれば、サロンは活発に活動できると思っています。
 - ・予算が少なく有名な講師が呼べない。長寿社会課の講師再度希望（年4回位）
 - ・サポーター養成を希望します。現在のサロンを運営している人の年齢は60～70代ですので、できましたら40～50歳代の若いサポーターの協力が必要だと思えます。
 - ・10年後私自身がサロンの仲間に入っている時期で、民生委員経験者がボランティア存在のお手伝いとして参加して有意義なサロンにしたらと思えます。
 - ・民生委員が中心でサポーターの方々が協力して頂き活動しています。男性のサポーターの方は、定年が65歳以上になっていることから高齢になってくるので、高齢者で元気な方の協力が必要になってくると思う。男性でも女性でも私が思う事のひとつに、一歩引いてサポートする心掛けがある方（協調性）を持つ姿勢が必要ではないかと！これからサポーターの方を増やしていく必要性が大であり、色々な問題がありますが人を労わる心を持つサポーターを増やしてもらいたい。
 - ・NPO法人よってってサロンについて、民生委員も対応に迷っています。社協の方針を聞かせて下さい。
 - ・市の出前講座が1回になって困っています。少なくとも2回にしてほしいです。
 - ・女性だけの会なので手芸的なことが多いのですが、次に何をしたら良いのか。足腰の痛い人が多いので立ってやるレクリエーションが出来ません。
 - ・足腰が痛く、サロンの会場まで行きたくても行けないという人が増えています。楽しく参加してもらおう為には送迎もありなのかと… 難しいかもしれませんが。
 - ・ボランティアや民生委員の積極性、やる気のある方の気持次第です。私の地域では平成8年から開始し、10月のサロンは115回目を迎えます。市役所、社協、地区民生委員、区長、ボランティアの強力な体制が必要です！
 - ・私達のサロンは12年目ですが、代表の私が81歳になり、現在は健康で続けられると思うけれど、今、後継者を考えている。（要望）福祉バスについて毎年お世話になっておりますが、この秋は希望する日が取れなかった（4回申込み）何か良い方法を…。
 - ・現在まだ働いておられる方もありますし、年々声掛けをしながら参加者を増やして行く事。時節に合った出前講座や参加者のアイデア等も取り入れながらやって行けたらと思えます。
 - ・担い手が継続できるように、無理なくあまり負担のないやり方。
 - ・若い人のサポートする人材。
 - ・私達のサロンの会は、助成金のみで運営しておりますので、今後消費税増額となった折には運営困難を予測します。助成金増額を希望します。
 - ・市の出前講座をもっと増やしてほしいです。月に1回何をしようかと悩みます。
 - ・マンション内8軒で参加は7人もあり、毎回区長さんが参加される事が有意義に思います。でも65歳～90歳の集りです。代表させて戴く私も89歳過ぎています。老齢並の足腰の痛みもありますが、各人が認知症予防にサロンを通してコミュニケーション共に大切な生活の一部と考えています。
 - ・日頃の地域の人との交流がないと10年後に突然ふれあいサロンに参加したいと思わないと思えます。今自分の回りを見てもそれぞれの趣味やサークルに忙しい方も多いので10年後続けていくのは少々難しいと思えます。
 - ・いきいきサロン開催の為に実行委員会（約25名）を組織し、月の第2水に実行委員会、第4

水に本番開催をしている。実行委員は当日の内容の検討、係、当番の確認。当日のご案内を配付している。そのため当日のサロンは出し物が工夫され（血圧測定・体ほぐし・当日の出し物・歌や遊び）更に保健師さんに「健康一口アドバイス」をしていただいて有意義なサロンとなっている。今月の出し物には当公民館のカラオケ教室や民謡教室の発表を組み込み楽しませてもらう応援している。

- ・地域に声かけをし、長く継続していくことが大切と思います。
- ・そろそろ役員ボランティアの世代交代する時に来ています。
- ・あまり決まりをつくらなくて、自由に好きな事をしていただく方が、皆さん楽しそうです。
- ・始めてから2年がたちました。まだ私（民生委員）一人が中心でやっている。負担感が強くなってきて、止めたくなることもあります。楽しみにしている方がいることを思うと、もう少し続けようと思っている。参加者にお手伝いしてもらっているが、できればサロンをもっていない民生委員の方々にも手伝ってもらえたら有難いと思う。町外からの参加者の方が多くなってきた。町内の方を増やしたいと考えている。
- ・早め早めのサロンに協力してもらえ人材、協力者。そして代表者の確保。
- ・団塊世代が後期高齢に入るため、地域によりませんが、民生委員の人数を1人でも増やして生活の中にサロンの存在が定着しつつ、楽しく人とふれあいも多くなれば、お互いさま精神で生活をしていけるのではと思います。
- ・10年後のサロン活動ですが、私が民生委員となり8年が過ぎようとしています。毎月サロンを第2火曜日の10時～12時まで、会員44名おりますが30名位が参加していますが、民生委員の仕事として一番気の重い仕事です。昨年まで出前講座を年4回出向いていただきましたが、今年から年1回となり大変です。プロではありませんので良く考えていただき、スムーズにサロン活動が出来る事を願っております。
- ・無理強いをしない様に、遊びに来る感じで出掛けて来られる様に配慮を心掛ける事。楽しみに毎月心待ちにしていらしゃる事を忘れないで開催する。
- ・今まで通り出前講座を年4回して欲しい。
- ・ボランティアさんを上手につかうことが大切。毎回の講師の選定が大変。昼食を出すサロン、茶菓子だけのサロン。まちまちで困る。私のサロンでは茶菓子だけ、陰で不平が出ている。
- ・使いづらい公民館で、今は座布団で低い机で脚に負担がある方は辛い。イスとテーブルなら楽。参加しやすいムード作りとプログラムの工夫。今60代の方はサロンに興味関心がない方が多数。10年後70代になってどれだけ参加してくれるかわからない。女性の好むプログラムは考えられるが、男性が興味を持って参加しようと思うような工夫をし、孤立しないようにしたい。
- ・サロンの参加者が固定化しつつあるので、新しい人が入れる様に工夫していかないと老々サロンになりそうです。
- ・民生委員の活動内容が一般の人々にあまり知られていないと感じています。広報にもっと“インパクト”のある見出しや大々的に催し物を開催して知ってもらうのはいかがでしょうか？
- ・どうしたら新しい人に入会してもらえるか。
- ・町内公民館の拡大
- ・利用される方々は毎回楽しみに集まって下さいますが、ボランティアでお世話して頂いている皆さんに代表として感謝の気持ちを伝えることに悩んでいます。
- ・現在の60歳、50歳代の人達にサロン内容と目的を知ってもらう事。比較的若いうちから知ってその年代になって回りの人達と幅広くお話しなりをして慣れていかないと、年をとってから話題相手に困り来なくなると思う。
- ・先に立って皆を引っばってくれる人の養成（担い手）
- ・地域の区長さんにも参加してもらう。参加したいが、足腰が不自由で送迎をしてもらえば行き

たい人達が大勢いる。

- ・送迎が必要になってくると思います。
- ・高齢化の為、必要と思う反面、参加者も年々施設への入所者も増えつつあります。町内に一人暮らしの方は数名いるのですが、人と会うのが面倒だとなかなか参加頂けない現状です。10年後、特別なことはなく現状維持でも楽しんで頂けると思います。
- ・担い手は、民生委員3人と開催時の女性3人がボランティア参加して頂いており、今後とも継続は可能であるが、高齢化が問題となってくる。
- ・町内全体が高齢化していることで、ボランティアの協力がどこまで可能か？
- ・子育てサロン、高齢者サロンと区切るのも良いが、出来るならば子供、保護者、高齢者が一つになれるサロンが理想と思う。核家族が今の現状を作ってしまったと思う。子供達と年寄りとがつながるような社会構成を望む（またその基となるサロンが欲しい）
- ・現在、ボランティアとして活動している人が参加者となっている状況。次のボランティアの人達を現在のボランティアが少しずつ新たなボランティアの人の協力を求める活動。
- ・消極的なおとなしい方への参加をいかに促していけばよいのか。また、サロンの内容を活発に充実させていくには、社協側からレクリエーションの担当を指導者としてたてて下さり、各地区の民生の定例会に年に2、3回出席し何をどのように取り組んで過ごすか、アドバイス指導して下さい民生委員として助かります。サロンの進行は考えれば考える程、地域のみなさんと顔馴染みだけに共に楽しく過ごせればと思います。
- ・運営する人がサロンの効果を認識して運営をしていけば活発に活動できるのではないかと思います。無理をしたりすると続けて行けなくなるのではなかとと思います。
- ・年間行事計画がマンネリ化にならない様に参加者に楽しんで頂けるサロン運営をして行きたいと思います。
- ・まだ働かないといけない若い人、そんな人が育成の為に参加できると良いと思うが70代の人の参加が多いのでなかなか育成につながらない。又、人の前に立って話せる、いろいろな運動や手あそびなど得意な人、指導がうまい人…サロンが活発に活動できると思います。
- ・サロン運営スタッフの確保。
- ・現状：地区によっては会場まで行くのに、国道や高速道路の側道を通らなければ行くことができず、徒歩での参加は不可能状態。トイレのない公民館に分散開催のためには、担い手（スタッフ）も少なく解決策は見当たらない。とりあえず、私的に送迎しているが事故への不安が大きい。区長さんや市社協担当者にも相談にのってもらうが、状況は変わらない。私たちの地区では「10年後…」までは考えがおよびません。良い方法有りましたら教えて下さい。
- ・社会教育講師の派遣を頼みたいと思うのですが、記録写真の提出があるので踏み切れません。写真も今は子育ての時と違い、写す機会が減り面倒です。なんとかならないものでしょうか。定例会議で発案しようと思うのですが忘れてしまいます。他の町内の方からも提出書類の煩わしさが、利用していないという意見が聞かれています。
- ・サロンに参加する人が楽しくなければいけない。健康体操と歌、踊り等でメリハリをつける。室内でできるスポーツ（ボーリング、輪投げ等）で競わせ、競う意欲も必要。
- ・毎月のプログラムが去年のプログラムを繰り返すだけの様になってしまっている。ボランティアさんも長く手伝っている人が多いので疲れてきている。
- ・小型バスの利用（無料、または格安）が可能になれば、館外活動が行いやすくなり、サロンの回数を増やすことができる。とにかく外出を希望する人が多くバスはそれに答えられると思う。現在はラサさん（婚・葬儀）など無料バスやぐるりんを利用し工夫をしている。
- ・60代の元気のうちから地域の人とコミュニケーションがとれるようなサロンみたいのがあってもいいのではと思います。
- ・サロン協力者及びリーダーの確保が必要。社協、市からの助成金の増額。

- ・サロン事態が今、過渡期なのかなと思う。私が民生委員を受けてから4年半だが来る人も少しずつ変わってきている。高齢で一人で来られなくなったり、足腰に病気をかかえたり。原則送り迎えはしていないので。又、年代も違ってくると今の70代の方はそれぞれ自分のネットワークを持っていてサロンに注意が向かない部分もあるように思う。
- ・私共のサロンはなるべく「隣人の和」をと思い、(手作りで)当番グループを3班作り、当番制で役員さんと各班の方々と行っています。サロン開催の1週間前に当番グループが集まり相談します。年々、食品が上昇し費用がかかり、助成金が増えたらと願っています。
- ・年間プログラムの作成が難しくなっているので改善を…
- ・いつでもバトンタッチ出来るよう、次の運営委員を育てていく事。社協のサロン担当者の現地調査があれば、このようなアンケートは必要ないのでは一。私のサロンにはいつでも来て下さい。直接相談が出来て助かります。
- ・地域のみなさんと仲よく交流が出来る事。今日も楽しかったと言ってもらえるよう運営して行きたいと思っています。宜しくお願い致します。
- ・現在は、各町内別に活動していますが、これからは連合化し横のつながりを広げることが必要かと考えます。
- ・私の一言で始めたことですが、なかなか協力者が集まらず難儀をしています。ボランティアの協力者が見つければ続ける事が出来ると思えますが！！ボランティアの方々に多少でもごほうびが出せれば？とか考えます。それと近くに時々集まれるような場所があればと思えます。
- ・ボランティアの増員及びサロン会場のバリアフリー化が求められる。
- ・現状は、民生委員中心の負担的運営を行っており、将来継続発展を想えば、町内にサロン運営にのみ携わる専任の役員を置き、専任担当者若干名をもって担当運営する組織を構成し活動を浄化する必要がある。
- ・年々参加者が増えているので、当会では会場の確保が最大の課題であり平屋の公民館でイスによるサロン活動が望ましいと考えており、ボランティアの人材は、現行は多くいるが今迄のボランティアの人材を養成する事が肝要と思われます。
- ・一人、老夫婦が多くなることは確実に来ると思います。今から団塊の世代の人達に協力頂くことが課題です。
- ・サロン運営はリーダー適任者と一緒に担う仲間が必要と思えます。当サロンはリーダーの向き不向きにかかわらず民生委員が代表を務める事となっております。私はまだ民生委員一年生でもありサロン運営は荷が重いと感じております。リーダーの選出に関しては配慮をお願いしたいと思えます。
- ・補助金のUPを！！
- ・市の派遣事業、出前講座などたくさん利用できると良いと思う。参加者が出来る簡単な手芸・小物のサンプルがほしい。
- ・会場が狭く人数をふやせない。市の出前講座をふやしてもらいたい。サロン運営費がもう少し多くなれば今までボランティアで講師をしていただいた中で交通費を要求された講師を継続できるようになる。
- ・後継者を見つけているがなかなか見つからない。ボランティアも高齢になっているので若い人が手伝ってもらえたらと考えている。
- ・お世話になっております。サロンの活動に必要なのは、やはりボランティアの協力だと思えます。お年寄りのお話しや催しの手伝いなど人手は必要だと思えます。福祉バスの乗降がしやすく、また借りやすくなるとありがたいと思えます。
- ・若い人のボランティアが少ないので先々の事を考え努力していきます。
- ・会場が現在2階でエレベーター無しなので、1階で誰でも入れる会場。市等、講師派遣回数が増減してしまいましたが、逆に増加がないと無理です。サロン運営にもっと協力的であってほし

いです。

- ・市の派遣事業、出前講座等、参加する人がもっと楽しめるような事業にしてください！
- ・町内ボランティアの方々の協力が大変ありがたく、スムーズに運営されています。市、社協から補助金は大変ありがたく使わせてもらっています。
- ・現在、40、50代の方にサロンの活動、必要性を理解して頂き、子供達や保護者との交流を深め、共同で参加出来る様な行事を。区長、3役を交えて活動を継続して行く事。
- ・地域により民生委員の後継者探しが大変です。サロンの負担が大きくなると更に敬遠されると思う。同じ人しか参加しない。新しい人が増えない。
- ・現在、民生委員が主となり、ボランティアさんの手助けでまわっていますが、民生委員になる人の選出が難しい。区長も人選には頭を悩ましていると聞いている。
- ・今現在のボランティアが60代～70代なので、50代の若い人達が参加してくれるといいと思います。
- ・地域の若い世代と高齢者が日常的に声をかけ合う町づくり（雰囲気）が大切と思う。形式ばったサロンでなく、人のつながりから参加してみようと思える高齢者の「心のよりどころ」をつくっていききたい。
- ・より多くの人に参加してもらうため、魅力あるプログラムを計画していくことが必要だと思う。そのため市や社協での楽しくかつ、役立つような講座をこれからも提供していただくと助かります。
- ・運営費との絡みもあり自主企画のみでは限界がある。（お金をかければ出来るだろうが、サロンの発想からは逸脱する）今後も参加者が減る傾向に有り、担い手はもとより参加者をいかに増やすかにある。
- ・認知症患者及び予備軍の住民の安否確認とお世話を地域で積極的に実施するという認識をもった次のリーダーの養成が急務であると思う。
- ・まず、ボランティアの人材確保だと思います。現在ボランティアの年齢は65才以上です。若い人は増々仕事を続けていくでしょう。次の担い手を探すのは難しい状況になっています。
- ・指導者の世代交代をスムーズにする。参加者の増加を望みます。
- ・市社協助成金、市補助金の分配に疑問がある、5人以上10人以下でも30人でも同額支給では、運営、活動内容に大差が生じている。隣接の少人数のところでは大盤振る舞いができているので、その差を参加者に聞かれると説明しなければならないのでなかなか大変です。
- ・昨年は3名の会員が亡くなりました。今までは先輩の方が先頭に立って動いていましたが最近若い方が先頭に立って動いてくれる様になりました。この状態が長く続く事を私は願っております。
- ・若い人の参加が少ない為、少し心配です。
- ・現在の60代、70代の人達がだんだん必要になると思う。大勢の方の参加をと思っています。
- ・レクリエーションなどで福祉バスを利用していますが、最近では回送料金など取られています。出来れば費用増加になるような事はしてほしくないです。
- ・サロン参加者だけでなく、サロンに協力してくれる比較的若い人達が必要になる。又、サロン運営のやり方や技術的支援も必要になってくると思う。
- ・サロンの基礎が出来ました。これから先、運営費が今迄通りに補助していただければ、末長く活動出来ると思います。
- ・担い手がいるか心配。（今、担い手が70歳前後なので）
- ・今はうまくいっているの。皆さんが楽しみに待っているのこのままで幸いです。
- ・私たちの地域は中山間地で、行政は現在50世帯程、うち10世帯は一人暮らしです。10年後には世帯数、人口とも半数になると思います。（参考として、区内には小学生、中学生は1人も居ません。）限界集落になるのではと思っていますが、他にも同じような地域は多くあると

思います。活発な活動は大変です。現状維持が精一杯のだと思います。月1回でも出来ればよいほうだと思っています。10年後の各集落がどのような形態になるのか、行政の立場で今後の福祉を丁寧に話しをして頂ければ幸いです。

- ・仕事をもっているボランティアさんがいるので土曜日しか開催できない（若い人のボランティアが必要）。土曜日でも派遣事業ができるといい。参加者が少なくなっている（同じ人）。一、二年後にサロンに來れなくなる人がいる。
- ・とても楽しみな会になっているので、リーダーを上手にバトンタッチして、末長く続けたいと思います。社協等の協力に感謝しています。
- ・ボランティアの後継者の育成。
- ・60代～70代の主婦が積極的であれば、活発なサロンになります。残念ながら協力性はありません。
- ・閉じこもりの人の参加（現実にはなかなか参加しない）。担い手や多趣味を持っている人のボランティアの参加や参加者の和、まとまり作り（環境づくり）が大切である。
- ・高齢者夫婦の世帯や独居老人が今よりかなり増えてくると思うので、まず、今の私達がサロン活動を工夫し充実した魅力あるものにしていき、次代の人達に理解してもらい、受け継いでいってもらえるよう努力していくことが大切だと思います。社会福祉協議会の人も日々真剣に取り組んで下さっているの、感謝しています。補助金も徐々に増やしていただければと思います。
- ・十何年も前から始まったおしゃべり会です。一人何百円か出して集まったのお茶のみ会ですが、当時は元気だったけれども現在は皆80歳を過ぎて、足腰が痛い人達ばかりですが、この会を何より楽しみにしてお休みする人はいません。
- ・世代交代がスムーズに行われること。
- ・参加者がふえ男性の参加者が増えてほしい！
- ・民生委員経験者が集まり事業内容の検討、参加者資格など地域によって条件が違うので話し合いをもち、（その時々民生委員の負担が大きいので）気軽に参加できるように！
- ・年度毎にサロン内容の更新を検討する必要があると感じている。（参加者のニーズ等考慮する為）サロンに役立つ様な講習を社協は提供を希望。
- ・民生児童委員はいろいろと仕事が多く活動にも支障をきたしてくると思うので、サロンの担い手を考える必要があると思います。
- ・区、長寿会の連携によってサロンに参加する体制作り、ボランティアさんの充実。
- ・高齢化が進む中、60歳代の方々にどんどん参加して頂く様努力し、皆さの協力の中で運営して行きたいと思います。
- ・現在は、比較的健康な方が歩いて来てくれていますが、来たくても来られない方にも来てほしいと思っています。
- ・担い手（運営関係者）も高齢者が主で行うサロン活動は大変になると思う。もっと地域住民がサロン活動に理解、協力が不可欠。特に若い人（50歳以上）の協力者が必要だと思う。
- ・開催頻度を上げ、最終形としては常設になると、介護予防に一層役立つと思う。
- ・運営委員の確保が難しい。助成金・補助金の増額。
- ・体力、筋力に良い体操を考えてサロンで教える。月一回の体操では効果は望めないで、近所のサロン仲間何人かと集まり、毎日体操を続けて体力の維持、アップを指導する。
- ・利用者、スタッフ共に新しく入って来て下さる方が増えれば続けられると思います。
- ・50歳、60歳過ぎても働いている人が多く、ゆとりや人の為にボランティアする人がいるのか、人口が急に増え、旧村人と新しい人のパイプ役も多分ない。地域づくりを始めないとサロンを負っていく人がいるのか心配です。
- ・高齢者が多くなり参加者も増えると思う。会をスムーズに運営していく為には、ボランティア

の増員が必要と思われる。又、会員自身もお客様状態でなく積極的に会の運営にたずさわる事が生きがいにつながるのではないかと思う。

- ・バス旅行のバス貸出について考えてもらいたい。色々のボランティア、講話についてもっとアピールしてほしい。
- ・市、区の助成、ボランティアの支援が必要。
- ・日頃から会員に話しかけ、外に出る機会をうながす。新会員を増やす様にする。
- ・サロンが活発に活動することになると町外活動やちょっとした所へ移動する場合の足（バス）が心配です。一年間を計画していてその月にバスがとれない場合、急に変更することになります。
- ・サロン会場より離れている人達の足が確保出来ず、参加希望されている方々が参加出来ない状況。送迎についてのご一考をお願いしたいと思います。
- ・地域の理解、行政の理解を頂き、集まりやすいサロンを開催していく事を心がけていきたいと思っています。サロン使用のバスについて…申し込み方法（3ヶ月前の5分間に電話予約）の見当を！バスの定員が減ってしまったので、私達のサロンでは、定員をオーバーしてしまいそうです。大型バスの予約はなかなか難しいですし、バスの空いている日に開催を変更するしかないでしょうか。バスでのサロン行事は皆さんとても楽しみにしています。
- ・会場のバリアフリー化にする為の補助金等を考えてもらいたい。
- ・参加者が年を取り参加出来なくなりつつあります。（人数減）適正の参加人数を確保する必要もあり、会員に積極的に働きかけて参加を促したいと思っています。
- ・高齢者が月一回会場に集まり、食べたり、おしゃべり等、毎回多くの人々が参加し楽しみにしています。手作りの食事等の提供は大変好評であるが、多くの食事ボランティアの人が必要であり、又、会場も参加者が多いので当サロンでは会場が狭い感じがします。
- ・運営関係者が増えること。
- ・長寿会との競合を避け、身近な健康管理や触れ合いができる方向での集いで良いと思います。社協のバスが利用できる事がとても助かります。
- ・当いきいきサロンは、長寿会会員を中心に活動を進めているが、サロンの良さを参加者に理解してもらいながら、新規の加入者を如何に増やしていけるかにかかっていると思う。そのためにはリーダーを中心に地域に積極的に係りながら取り組んでいく必要がある。
- ・小さい区ですが、これから65歳以上の人は増えてくるので、気やすく集えるにはどんな内容のものがよいか、いろいろ考えていただきたいと思っています。
- ・リーダーの育成と地域の人々達とのつながりが大事なことであると思います。
- ・相談ごとに協力してほしい。自発的指導して下さい。マンネリ化している傾向があり、種々取り入れていきたいと考えます。
- ・新しく会員になる方がなかなか出来ません。年令70才になったら考えますと言う方が多いので勧誘の得策をお教えて頂けますか。
- ・今以上に一人暮らしが増えると思います。もっと中間の人50～60代の人達の地域参加を希望したいのですが、働いている人が多くボランティアのリーダーを探すのが大変です。
- ・サロンを開始して7年となりますが、中心となってくれる人がなかなかいないので交代することが出来ないのが大変です。地域任せにならないように考えて頂きたいと思っています。
- ・現在のやり方にほぼ満足している。
- ・参加者、担い手が高齢になり、担い手も参加者側へ移行していくと思われる。若い人の担い手が増える必要があると思われる。
- ・今後、益々高齢者が増えていく中、「サロン」活動は益々必要と思いますが、その時には順次若いシニア層の参加を増やす方策が必要です。その為には地域全体で取り組む体制が必要であり、社協としては、区長や関係するリーダーに対し啓もうを含め、きめ細やかな支援体制づくりを

早急に検討すべきです。

- ・ 60代位の人がいないと長続きしないと思われます。
- ・ 健康で長くサロンが続くようにやって行きたいと思ひます。
- ・ 若い方のボランティアを受入れしたいが、地区が小さい為、難しいと思ひます。市の職員が出向いて頂きたい。
- ・ いろいろなグループを作りそれぞれにリーダー格を作る。高崎、前橋社協の講習・出張をお願いしたい。
- ・ 高崎市に合併してから送迎がなくなったので参加者が減りました。
- ・ 閉じこもりの人が参加しても、知人がいないためなかなかとけこめず、次回から参加しなくなってしまう。特に新しく住民となった方は、区として集会所の利用度を高める為、今後、将棋、囲碁、手芸等の開催を定期的に行い、参加者とのコミュニケーションを図っていききたい。
- ・ 若い人の取り入れ、スタッフの平均年齢70歳をこえてしまっているのて、今後50代の方にどう参加してもらい、後をついでもらうか課題です。
- ・ 10年後は、会員が高齢の為わかりません。
- ・ 運営費の確保。会場の分散化（空き家の利用等）で、小単位のサロンの開催。スタッフの育成。
- ・ 私達が開催しているサロンの地域に近頃スーパーが閉店しましたので、移動販売車両に来てもらうと高齢者の人達が助かると思ひます。
- ・ 運営していくためにお茶菓子代その他、材料費がかかり、計画したいと思ってもあきらめてしまうこともあります。年1回の外出では足りない分をサロンで（各自1,000円を集金している。）負担している為、参加者が多くなる程、負担金も多くなり、やりくりし苦勞しています。助成金の増額と講師派遣は続けて頂きたいお願い致します。
- ・ 主催者の熱意、誠意、創意。
- ・ 区との連携、ボランティア、市の派遣事業の充実。
- ・ 高齢者が増える。でも元気な方もいらっしゃると思ひますので、地域でのコミュニケーションの場として、今まで通り健康寿命を保つ為のお世話や行政の事など、わかりにくい事などを詳しく話して下さる場であればと思ひます。そして、皆様が互いに励まし合って、楽しく過ごしていける場所であればと思ひます。時には世代間交流も入れたいです。
- ・ ボランティアの協力。区の役員の協力。高齢化が進む現状では上記の協力なくしては継続できないと思ひます。
- ・ お茶を飲みながら楽しくおしゃべりを基本に、運営の担い手も参加者も気楽さがないと長続きしないと思ひます。
- ・ 助成金について参加者の多少にかかわらず、5人以上であれば同額はどうなのか。外出行事時のバス利用時間について、何度か要望をしているところですが、旧市内、市外（サロンの実施場所）の利用について、時間の配慮（出発・帰着）をして頂けないでしょうか？ ※不可能とは知りながら…。助成金について、多ければ良いのではない！ぜいたくは禁物！大切な税金をどう活用するかは、代表者の考え方に関わってくると思ひます。
- ・ 健康寿命を長く保つために、何をなすべきか？…を個々、目がさめる事が大切だと思ひます。そして、サロン参加年齢も若い（65歳～）方に大勢参加してほしい。老いるのは早いものですかね。
- ・ リーダー、ボランティアの育成の必要。
- ・ もう少し担い手の方にもメリットがないと、10年後にサロン活動が活発にしているかは心配です。
- ・ 後継者の育成。教材の無料配付。
- ・ サロン活動の担い手、ボランティアの人がなかなかみつからない。担い手の育成が難しい。
- ・ やってほしい人が増える一方で世話役のなり手が少ない。この解決策は若干収入に結びつく作

業導入をはかることにある。これによって活気が出て退職しての比較的元気な高齢者も集まってくる。元気な高齢者が積極的に参加できる環境が必要と思う。

- ・ 出前講座の充実＝楽しい体操、多様なレクリエーションなどの提供。運営費の支援継続。
- ・ 一人暮らしの方もいらっしやいますが、生協（宅配）を利用したり、又、週に一度位子さんがみえて下さる方も、このグループの方は、未だそれ程不自由を感じている方は居ません。（90歳～72歳）
- ・ 運営費と積極的に協力してくれる数名の担い手がいれば、もっと幅広くプログラム等を増して参加者に満足していただけたと思います。
- ・ 若い人達にボランティア活動のあり方などをもっともっと拡大して、積極的に参加する勉強の時間を与えた方が良いと思います。
- ・ 芸能ボランティア（歌・演奏）に来てもらっています。社協での団体等の把握が古かったり、団体が中止したりで、個人で探すことが多く、苦勞する事が多いです。高崎にはボランティアが多いので、社協で調査、呼びかけ、登録をしていただくと助かります。
- ・ 家に一人で居るよりは楽しかった。又来たいと思ってもらうこと。時には健康、日頃の生活に役立ったと思ってもらうこと。1年に1度のバス旅行の予約がとても困難。高齢者は無理のない日帰り旅行をととても楽しみにしている。是非、安全で今よりスムーズに使用できるバスの確保をお願いします。
- ・ 私のサロンでは、男女同数の出席はあるのだが、女性はおしゃべり、お茶飲みを主としたい意向がみられるが、男性は活動を充実しないと出席数が少ないので、プログラムには苦慮している。女性への働きかけに工夫を要する。町内の一人暮らしの方、又、近所への関わりを求めている人達を元町内役員だった方や現在役員をしている方の協力を得てサロン運営している。（サロン会員になっていただいている）
- ・ 担い手も高齢者になってきているので後継者が必要。助成金の関係で、1町内、1ヶ所にしていきたいと伺いましたが、何ヶ所もある方があちこちに気軽に参加出来ることで、外出の機会が増え、たくさんの人とかかわりあえると思うので、1ヶ所にまとめる方針を検討して下さい。
- ・ 高齢者の健康により、医療、介護の需要を減らし医療費の削減につながるため、市からの広報を強く訴え回覧板を出して、いきいきサロンの参加を呼びかけてほしい。
- ・ 参加者が、固定化している点を乗り越えないと先がないように思えるが、どうしたらよいか今は不明です。
- ・ 当町内の現状は、”介護予防こそサロン化すべし”との意見が強く、元気いっぱいの方々（65歳～75.6才）に押され、肩身の狭い思いでのいきいきサロンを開いております。よって、10年後の事は想像出来ません。申し訳ありません。町内会において、トップの方々のご理解無くしては考えにくい問題です。
- ・ 参加者が余り気を使わなくてもよいように進めてゆきたいと思っております。運営委員に簡単な手芸、折り紙などの教示していただけたらと思います。
- ・ ボランティアの人達からは、会費は頂いていません。関係だと思われまます。参加しなくなりました。困っています。
- ・ 高齢化が増加して、資金不足が心配になります。
- ・ 現在、会場がコンテナのため参加増員がはかれないが、空屋を利用し、会場造りに「市に相談中」成功すれば、もっともっと町内の交流が進みサロンも活発になると思います。
- ・ 私は色々の事をお世話して歩いて来て（病院への入院、お見合、なやみなどなど）事務所をサロンにし、電気、ガス、水道、赤字ですがそれもよしとして、電話を入れたいのですが、とてもきびしいです。
- ・ 「井の中のカワズ…」的にならない為に、他のサロンの様子を勉強したい。こんなに良いことがあったのかと後悔しないようにしたい。良い例があったら教えてもらいたい。仲良し会も1年

足らず。あまり難しいことをしてもダメだと聞いています。全国サロン会長さんの言葉を借りれば「お茶をのみ、笑える集いになればそれで充分…」という記事を拝見しましたが、無我夢中でやっています。

- ・健康管理。
- ・地域活動に担い手として理解し、率先力の人材を育成して頂きたいと思います。
- ・会員様の確保だと思います。
- ・社協のバスの利用が、もう少し手軽に出来るといろいろな所へ出掛けられると思う。もう一台25人乗位でも良いので増やしていただくと有難いと思います。学校や保育所、地域内の施設等の人的交流が出来ると世代間や、地域がもう少し近く感ぜられると思うのですが…。
- ・10年後は皆さんかなり高齢になるので、はたして運営が出来ているか不安である。若い方が少ないので皆さんが、元気であるためには継続することが大事だと思う。
- ・開催準備などで参加者に印刷物を配りたいが、コピーなどに費用がかかって困る。
- ・協力者の人材確保に向けてのボランティア研修会の開催。民生委員OBの協力体制の整備等。
- ・地域に根ざしたサロンであること。より年齢の低い人の参加が必要である。新しい情報や活動に生かせるアドバイスを。
- ・私共町内のサロンは今年度8月の設立発足で、活動の実績もなく、アンケートの内容に答える事が出来ませんが、このアンケートもひとつの参考資料としてより良いサロンに育つ様に努力して行きます。

以上

平成27年8月19日

ふれあい・いきいきサロン代表者 各位

社会福祉法人高崎市社会福祉協議会
会長 松橋 亮
(公印省略)

ふれあい・いきいきサロン状況アンケート調査の実施について (お願い)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、我が国では、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年(平成37年)以降、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

このような中、国は医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供されるしくみ「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

そして、ボランティアや地域住民などによるインフォーマルな助け合い・見守り活動の大きな担い手として、ふれあい・いきいきサロン活動のさらなる推進が期待されているところです。

さらに、平成26年3月に策定した第2次高崎市地域福祉計画・地域福祉活動計画の中では、ふれあい・いきいきサロンへの支援を継続すると共に、その効果やニーズを分析するための調査を行なうと謳っております。

つきましては、別紙のとおり、アンケート調査を実施しますのでご協力をお願いいたします。

別紙、同封のアンケート調査用紙にご記入いただき、返信用封筒にて返信くださいますようお願いいたします。

記

1 送付書類

- ① ふれあい・いきいきサロン状況アンケート調査記入用紙
- ② 返信用封筒

2 提出期限 9月30日(水)まで

3 提出先 高崎市社会福祉協議会 青山
〒370-0065
高崎市末広町115-1 高崎市総合福祉センター3階
電話 027-370-8855

高崎市ふれあい・いきいきサロン状況アンケート調査記入用紙

サロン名：_____

回答者名：_____

連絡先：() _____

- 問1 サロンを開催している地区について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 旧高崎 2. 倉渕 3. 箕郷 4. 群馬
5. 新町 6. 榛名 7. 吉井
- 問2 現在のサロンの開催頻度について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 月1回くらい 2. 月2回くらい 3. 週1回くらい 4. 月1回未満
- 問3 参加者・担い手（運営関係者）の1回に参加する平均人数をご記入ください。
参加者（ ）人 担い手（ ）人
- 問4 サロン開設時と比べて参加者数をどう変化していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 増えている 2. ほとんど変化なし 3. 減っている
- 問5 参加者の性別構成について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 女性のみ 2. 女性が多い 3. 男性・女性ともほぼ同数
4. 男性が多い 5. 男性のみ
- 問6 サロンの運営費（収入）について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 運営費に余裕がある 2. 丁度良い 3. なんとかやり繰りできている。
4. 運営費は足りていない（今の運営費では満足行く活動ができていない）
5. その他（ ）
- 問7 サロンの収入について、当てはまるもの全てに○をつけてください。
1. 市社協助成金 2. 市補助金 3. 参加者負担金（会費）
4. 町内助成金 5. 地区社協助成金 6. 地区民児協助成金
7. その他（ ）
- 問8 参加者から負担金（会費）をいただくことは可能ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
1. 可能 2. 不可能 3. すでにいただいている
- 問9 今後、サロンの開催頻度を増やしていくことは可能ですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。
1. 可能（月・週____回くらいまで可能）
2. 助成金が増えれば可能（総額年間_____円位）
3. 開催場所の確保ができれば可能
4. サロンに協力してもらえる人材・協力者がいれば可能
5. これ以上回数を増やすことはできない。
6. その他（ ）

裏面につづく

問10 地区社会福祉協議会主催のサロン連絡会議や情報交換が行われていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 行われている
2. 行われていない
3. 行われているが出席していない
4. わからない

問11 地区社会福祉協議会等でサロン連絡会議や情報交換会の開催を希望しますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 希望する
2. 希望しない
3. わからない

問12 日頃のプログラムについて、当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. おしゃべり
2. 歌、カラオケ
3. レクリエーション
4. 健康体操
5. 健康チェック（血圧測定など）
6. 手芸
7. 季節行事
8. お茶飲み
9. 食事
10. 外出行事（日帰り温泉など）
11. 芸能ボランティア派遣
12. 世代間交流
13. 市の派遣事業（介護予防に関する講話）
14. 市の出前講座
15. その他（ ）

問13 現在の状況について、当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 同じ人しか参加できなくなっている
2. 隣の地域にもサロンがあると助かる
3. もっとたくさんの人に参加して欲しいが、増えると運営しにくい
4. 運営費は、十分でないが、参加者からの負担金はもらえない
5. 参加者から送迎を頼まれている（送迎をしてあげたい人がいる）
6. サロンの内容に行き詰まっている
7. サロンをやめたいと思っている

問14 サロンを開催してからの効果について、当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 閉じこもり・孤立の防止になっている
2. 介護予防に役立っている
3. 人と話す機会が増えている
4. 生活のメリハリになっている
5. 生きがい活動となっている
6. 心配ごとや困りごとの発見につながっている
7. 安否確認ができている
8. サロンが地域活動の拠点となっている
9. その他（ ）

問15 高齢者の買い物支援として、サロン開催日の会場に移動販売車両に来てもらうことを希望しますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 希望する
2. 希望しない
3. どちらでもない

問16 10年後、サロンが活発に活動しているために必要だと思うもの・ことは何ですか。ご自由にご記入ください。また、市や社会福祉協議会に対する要望等がありましたらご意見をお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。